データ項目ID		データ項目	グループ			データ型	桁数	コード	繰り返し	データ出力条件	項目定義	項目説明	実装類型
			名称	主キー	外部キー								
037	01584	時効更新年月日	時効詳細情報			DATE	10			任意	時効の更新年月日	時効の更新の場合は、出力すること	◎
037	01585	時効完成猶予開始年月日	時効詳細情報			DATE	10			任意	時効の完成猶予の開始年月日	時効の完成猶予の場合は、出力すること	◎
037	01586	時効完成猶予終了年月日	時効詳細情報			DATE	10			任意	時効の完成猶予の終了年月日		◎
037	01386	削除フラグ	時効詳細情報			X	1			必須	当該データが削除されたかどうかを現すフラグ（0：未削除、1：削除済）		◎
037	01387	操作者ID	時効詳細情報			X	10			必須	操作者を一意に識別するコード		◎
037	01388	操作年月日	時効詳細情報			DATE	10			必須	操作を行った年月日		◎
037	01389	操作時刻	時効詳細情報			TIME	8			必須	操作を行った時刻		◎
037	01390	市区町村コード	不納欠損期別情報	○	○	X	6			必須	市区町村を一意に識別するコード（指定都市においては区までを特定）	「全国地方公共団体コード」（総務省）に従って6桁のコード値を設定すること	◎
037	01599	合併前_市区町村コード	不納欠損期別情報	○	○	X	6			必須	合併前の市区町村コード	・「全国地方公共団体コード」（総務省）に従って6桁のコード値を設定すること ・合併前の市区町村コードがない場合は、市区町村コードと同値を設定すること	◎
037	01391	賦課年度	不納欠損期別情報	○	○	YEAR	4			必須	納付義務者に対し納めなければならない税（料）額を決定及び通知した年度		◎
037	01392	相当年度	不納欠損期別情報	○	○	YEAR	4			必須	・賦課の対象となる根拠の発生した年度（賦課すべき年度） ・法人住民税の場合、法人の確定申告、中間申告等に係る申告期限（申告期限が延長されている法人の場合は延長前の申告期限）が属する年度		◎
037	01393	通知書番号	不納欠損期別情報	○	○	X	20			必須	・通知書を特定可能な番号 ・軽自動車税においては徴収単位を一意に特定可能な番号 ・法人住民税の場合、法人を一意に特定可能な番号		◎
037	01394	業務詳細（科目）コード	不納欠損期別情報	○	○	X	2	036-002		必須	対象となる業務の詳細（科目）を示すコード		◎
037	01395	特別徴収義務者指定番号	不納欠損期別情報	○	○	X	12			必須	滞納者が特別徴収義務者の場合の、特別徴収義務者指定番号	個人住民税（給与特別徴収）でない場合は、0を設定すること	◎
037	01396	期別	不納欠損期別情報	○	○	X	2	036-006		必須	徴収の期を表す内容		◎
037	01397	申告履歴番号	不納欠損期別情報	○	○	9	8			必須	法人住民税において、事業年度内の課税申告（申告書、見込納付）を時系列に付番した番号	・古いものから昇順でカウントアップ ・法人住民税でない場合は、0を設定すること	◎
037	01398	事業年度番号	不納欠損期別情報	○	○	9	8			必須	グループ間の紐付けに用いる番号	・設定値はアプリケーションの規定によることとする（連番、事業年度開始日 等） ・法人住民税でない場合は、0を設定すること	◎
037	01399	児童_宛名番号	不納欠損期別情報	○	○	X	15			必須	子ども・子育て支援における対象児童の宛名番号	子ども・子育て支援でない場合は、0を設定すること	◎
037	01400	宛名番号	不納欠損期別情報	○	○	X	15			必須	納付義務者となる個人（法人、共有者含む）を識別する番号		◎
037	01401	欠損年月日	不納欠損期別情報	○		DATE	10			必須	不納欠損となった年月日		◎
037	01402	最新フラグ	不納欠損期別情報			X	1			必須	当該データが最新かどうかを現すフラグ（0：最新ではない、1：最新である）		◎